

表 6 2014年末わが国の慢性透析療法の現況(所在県別)宮城県
04 宮城県

透析施設の現況(施設調査票より)	
施設数	58
ベッドサイドコンソール	2,118
同時透析	2,094
最大収容	6,541

透析患者数(施設調査票より)						
	通院		入院		合計	
昼間	4,030	(81.76)	346	(89.18)	4,376	(82.30)
夜間	813	(16.49)	36	(9.28)	849	(15.97)
在宅	0	(0.00)	0	(0.00)	0	(0.00)
腹膜透析	86	(1.74)	6	(1.55)	92	(1.73)
合計	4,929	(100.00)	388	(100.00)	5,317	(100.00)

かっこ内は列方向の合計に対する%です。

新規導入、死亡患者数(施設調査票より)	
導入患者	638
死亡患者	463

腹膜透析に関する患者数(施設調査票より)	
HD、HDF等とPDを併用している患者数	8
腹膜カテーテルを残している洗浄患者など	2
腹膜透析新規導入、年内脱落患者数	0

(C)Japanese Society for Dialysis Therapy
2014年末調査

透析従事者数(施設調査票より)							
	医師	看護師	臨床工学士	栄養士	ケースワーカー	その他	合計
専従	83	572	285	20	9	132	1,101
兼務	121	45	72	41	35	25	339
合計	204	617	357	61	44	157	1,440

透析歴別人数(患者調査票より)									
透析歴	男性		女性		合計		記載なし		総計
2年未満	708	(21.21)	338	(18.85)	1,046	(20.39)	0	()	1,046 (20.39)
2年～	862	(25.82)	420	(23.42)	1,282	(24.99)	0	()	1,282 (24.99)
5年～	904	(27.08)	462	(25.77)	1,366	(26.62)	0	()	1,366 (26.62)
10年～	424	(12.70)	250	(13.94)	674	(13.14)	0	()	674 (13.14)
15年～	194	(5.81)	117	(6.53)	311	(6.06)	0	()	311 (6.06)
20年～	109	(3.27)	83	(4.63)	192	(3.74)	0	()	192 (3.74)
25年～	58	(1.74)	73	(4.07)	131	(2.55)	0	()	131 (2.55)
30年～	53	(1.59)	27	(1.51)	80	(1.56)	0	()	80 (1.56)
35年～	22	(0.66)	15	(0.84)	37	(0.72)	0	()	37 (0.72)
40年～	4	(0.12)	8	(0.45)	12	(0.23)	0	()	12 (0.23)
合計	3,338	(100.00)	1,793	(100.00)	5,131	(100.00)	0	()	5,131 (100.00)
不明	0		0		0		0		0
記載なし	0		0		0		0		0
総計	3,338		1,793		5,131		0		5,131
平均	7.07		8.30		7.50		0		7.50
標準偏差	7.35		8.27		7.70		0		7.70

かっこ内は列方向の合計に対する%です。

最長透析歴(患者調査表より)	
最長透析歴	43年1ヶ月